

| | | | | | | | | | |
|--|-------------------------------------|--------------------|-------------|----------------|---|------|-------------|------|-----|
| 科目ナンバリング | | U-LAS30 20025 LJ13 | | | | | | | |
| 授業科目名 <英訳> | 情報企業論 Information and Enterprise | | | 担当者所属 職名・氏名 | 経営管理大学院 教授 松井 啓之 教育改革戦略本部 特定教授 藤田 哲雄 | | | | |
| 群 | 情報学科目群 | | 分野(分類) (各論) | | | 使用言語 | 日本語 | | |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義 (対面授業科目) | | |
| 開講年度・ 開講期 | 2026・後期 | | 曜時限 | 月5 | | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |
| 【授業の概要・目的】 | | | | | | | | | |
| <p>情報化・デジタル化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現する能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。また、情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深める。</p> <p>特に将来グローバルな仕事への従事希望者、ハイテク産業の行政、投資・評価、コンサルティングの希望者、起業志向者、大企業やスタートアップのキーマネジメント志向者、経営管理などに興味をもつ学生にとっては、ITインフラ、サービス関連の全体概要と最新動向に触れる機会を提供する。</p> <p>受講者が目的意識をもって今後の専門領域を学習でき、卒業後に実践的な応用ができることを講義目的とする。当該領域で活躍中の第一線専門家による講義も予定している。</p> | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | | | |
| <p>情報化・デジタル化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現する能力を養い、情報社会に積極的に参画する能力の獲得を目指す。また、価値の創出(クリエイティブ・デザイン)と価値の良さがわかる(サービス・リテラシー)人材の教育を行う上での基礎知識を習得する。</p> | | | | | | | | | |
| 【授業計画と内容】 | | | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 担当：松井 2. 企業活動と情報システム/社会のデジタル化 担当：松井 3. 企業活動と情報システム/経営情報システム 担当：松井 4. 企業活動と情報システム/デジタル化を支える基礎技術 担当：松井 5. 企業活動と情報システム/デジタル化を支える応用技術 担当：松井 6. 企業活動と情報システム/AIのインパクト 担当：松井 7. 産業のサービス化 担当：藤田 8. デジタルトランスフォーメーション(DX) 担当：藤田 9. ゲスト 事例紹介「脳科学をビジネスに」 担当：松井 10. ゲスト 事例紹介「サービス産業」 担当：松井 11. サービスデザイン1(エスノグラフィ) 担当：松井 12. サービスデザイン2(デザイン思考、講義) 担当：松井 13. サービスデザイン3(デザイン思考、演習) 担当：松井 14. サービスデザイン4(デザイン思考、演習) 担当：松井 15. フィードバック 担当：松井 | | | | | | | | | |
| 【履修要件】 | | | | | | | | | |
| 特になし | | | | | | | | | |
| 【成績評価の方法・観点】 | | | | | | | | | |
| <p>情報活用社会に対する社会背景、現状分析、課題の認識、解決アプローチ等の習得を目的とし、その習得程度を評価する。評価の方法としては、授業・演習への積極的参加(20%)、レポート課題情報企業論(2)へ続く</p> | | | | | | | | | |

情報企業論(2)

題(4回、合計で80%)とする。

[教科書]

教科書は指定しない。

授業で用いるものは、適宜配布する。

[参考書等]

(参考書)

瀧崎正弘、若林靖永、藤田哲雄)『ITと現代ビジネス: 実践から学ぶ経営・実務・技術』(京都大学
学術出版会, 2023) ISBN:4814004915
ニコラス・ネグロポンテ/福岡洋一『ビーイング・デジタル ビットの時代』(アスキー, 1995)
ISBN:4756116043
カール・シャピロ, ハル・ヴァリアン/大野一『情報経済の鉄則 ネットワーク型経済を生き抜くた
めの戦略ガイド』(日経BP社, 2018) ISBN:4822255573
情報処理学会一般情報教育委員会『一般情報教育』(オーム社, 2020) ISBN:427422595X
奥村晴彦, 佐藤義弘, 中野由章『ワードで学ぶ最新情報トピックス 2026』(日経BP, 2026) ISBN:
429607136X
村田聡一郎/SAPジャパン『Why Digital Matters? #12316 “なぜ” デジタルなのか#12316』(プレジ
デント社, 2018) ISBN:4833451301
マルコ・イアンシティ, カリム・R・ラカーニ/吉田素文, 渡部典子『AIファースト・カンパニー ア
ルゴリズムとネットワークが経済を支配する新時代の経営戦略』(英治出版, 2023) ISBN:
4862763359
D・ノーマン/安村通晃, 伊賀聡一郎, 岡本明『より良い世界のためのデザイナー-意味、持続可能性
人間性中心』(新曜社, 2023) ISBN:4788518279
井登友一『サービスデザイン思考 「モノづくりから、コトづくりへ」をこえて』(NTT出版,
2022) ISBN:4757123884
ジャンルカ・カレラ, フランチェスコ・ズーロ/羽山康之, 牧尾晴喜『未来を創るストラテジッ
クデザイン 新しい価値の構想に向けた、戦略としてのデザイン入門』(ビー・エヌ・エヌ, 2025)
ISBN:4802513526
マーク・スティックドーン, アダム・ローレンス, マーカス・ホームズ, ヤコブ・シュナイダー/長
谷川敦士, 安藤貴子, 白川部君江『This is Service Design Doing サービスデザインの实践』(ビー・
エヌ・エヌ新社, 2020) ISBN:4802511248

[授業外学修(予習・復習)等]

事前配布の講義資料および参考書籍の事前学習。講義受講後の講義資料の復習。

[その他(オフィスアワー等)]

受講者が目的意識をもって今後の専門領域を学習でき、卒業後に実践的な応用ができることを講義
目的とする。

オフィスアワーに関しては、メールによるアポイントを経ることとする

[主要授業科目(学部・学科名)]